

令和6年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和6年2月14日

上場会社名 株式会社RISE 上場取引所 東
 コード番号 8836 URL http://www.rise-i.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 芝辻 直基
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 山口 達也 (TEL) 03-6632-0711
 四半期報告書提出予定日 令和6年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和6年3月期第3四半期の連結業績(令和5年4月1日~令和5年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
6年3月期第3四半期	258	0.5	7	87.7	6	△41.0	6	△81.4
5年3月期第3四半期	257	△5.5	3	—	11	—	32	—

(注) 包括利益 6年3月期第3四半期 6百万円(△81.4%) 5年3月期第3四半期 32百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
6年3月期第3四半期	△1.07	—
5年3月期第3四半期	△0.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
6年3月期第3四半期	2,314	2,067	89.3
5年3月期	2,390	2,061	86.2

(参考) 自己資本 6年3月期第3四半期 2,067百万円 5年3月期 2,061百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
5年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
6年3月期	—	0.00	—	—	—
6年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 令和6年3月期の連結業績予想(令和5年4月1日~令和6年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	347	2.1	11	199.5	10	△3.4	3	△88.0	△1.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	6年3月期3Q	96,013,277株	5年3月期	96,013,277株
② 期末自己株式数	6年3月期3Q	65株	5年3月期	65株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	6年3月期3Q	96,013,212株	5年3月期3Q	96,013,212株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実績を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
5年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
6年3月期	—	0.00	—		
6年3月期(予想)				0.00	0.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスの感染症拡大による影響は落ち着きつつありますが、ガザ戦闘やウクライナ情勢による資源・エネルギーや食糧価格の上昇により経済の不確実性や景気の下振れリスクが懸念され先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは、不動産賃貸事業と不動産管理事業を収益の柱として事業を推進しております。売上高は、前年同四半期とほぼ同額となり不動産賃貸事業売上高は122百万円、不動産管理事業売上高は135百万円、売上高合計は258百万円となっております。これにより売上総利益は214百万円となりました。販売費及び一般管理費は人件費が2百万円増加しましたが、租税公課が3百万円、外注作業費が2百万円減少したこと等により前年同四半期より3百万円減少しております。営業損益は7百万円の営業利益、経常損益は6百万円の経常利益となっております。また、特別利益として固定資産売却益31百万円を計上しております。法人税、住民税及び事業税を41百万円、法人税等調整額を△10百万円それぞれ計上しており、この結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は6百万円となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、不動産賃貸事業売上高122百万円（前年同四半期は122百万円）、不動産管理事業売上高135百万円（前年同四半期は135百万円）、売上高合計258百万円（前年同四半期は257百万円）、売上総利益214百万円（前年同四半期は213百万円）、営業利益7百万円（前年同四半期は3百万円の営業利益）、経常利益6百万円（前年同四半期は11百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純利益6百万円（前年同四半期は32百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメント別の経営成績の状況は、以下のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、セグメント情報を開示しており、当第3四半期連結累計期間の比較・分析は、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報を当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき記載しております。

不動産賃貸事業

不動産賃貸事業では、売上高は新たな事業用定期借地権設定契約締結に伴う売上高の増加要因がありましたが、賃貸借契約終了の物件発生による減少要因もあり、前年同四半期とほぼ同額でありました。また、修繕費が増加した事等によりセグメント損失が10百万円増加しております。

以上の結果、売上高122百万円（前年同四半期は122百万円）、セグメント損失20百万円（前年同四半期は10百万円の損失）となりました。

不動産管理事業

不動産管理事業では、売上高は管理契約物件の入替がありましたが前年同四半期と比べほぼ同額となりました。また、部門共通費の減少によりセグメント利益が8百万円増加しております。

以上の結果、売上高135百万円（前年同四半期は135百万円）、セグメント利益62百万円（前年同四半期は54百万円の利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は2,314百万円となり、前連結会計年度末に比べて76百万円減少しました。流動資産は、現金及び預金が14百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べて11百万円減少し894百万円となりました。固定資産は、土地の売却等により27百万円、減価償却費を計上したこと等により35百万円減少し、前連結会計年度末に比べて64百万円減少し1,419百万円となりました。

負債は247百万円となり、前連結会計年度末に比べて82百万円減少しました。これは、未払法人税等が39百万円、長期借入金の一部返済により24百万円、繰延税金負債が10百万円、預り金が7百万円それぞれ減少したことが主な要因であります。

純資産は2,067百万円となり、前連結会計年度末に比べて6百万円増加しました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益6百万円を計上し利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績等を踏まえ、令和5年5月12日に発表いたしました令和6年3月期通期の連結業績予想を修正いたしました。詳細については、本日公表いたしました「令和6年3月期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和5年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和5年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	879	864
棚卸資産	0	0
未収収益	22	23
その他	4	6
流動資産合計	906	894
固定資産		
有形固定資産		
建物	955	955
減価償却累計額	△726	△761
建物（純額）	228	193
土地	1,229	1,202
その他	31	31
減価償却累計額	△30	△30
その他（純額）	1	1
有形固定資産合計	1,459	1,396
無形固定資産	0	0
投資その他の資産	24	22
固定資産合計	1,484	1,419
資産合計	2,390	2,314

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和5年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和5年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	0	1
1年内返済予定の長期借入金	32	32
未払費用	7	6
前受収益	9	10
預り金	12	5
未払法人税等	51	12
未払消費税等	5	5
賞与引当金	5	2
流動負債合計	124	75
固定負債		
長期借入金	75	51
退職給付に係る負債	7	4
役員退職慰労引当金	13	16
繰延税金負債	59	49
その他	48	49
固定負債合計	205	171
負債合計	329	247
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	2,072	2,072
利益剰余金	△111	△105
自己株式	△0	△0
株主資本合計	2,061	2,067
純資産合計	2,061	2,067
負債純資産合計	2,390	2,314

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年12月31日)
売上高		
不動産賃貸事業売上高	122	122
不動産管理事業売上高	135	135
売上高合計	257	258
売上原価	43	44
売上総利益	213	214
販売費及び一般管理費	209	206
営業利益	3	7
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
償却債権取立益	0	0
受取補償金	8	-
その他	0	0
営業外収益合計	9	0
営業外費用		
支払利息	2	1
営業外費用合計	2	1
経常利益	11	6
特別利益		
固定資産売却益	68	31
特別利益合計	68	31
特別損失		
固定資産除却損	2	0
特別損失合計	2	0
税金等調整前四半期純利益	77	37
法人税、住民税及び事業税	52	41
法人税等調整額	△6	△10
法人税等合計	45	31
四半期純利益	32	6
親会社株主に帰属する四半期純利益	32	6

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和4年4月1日 至 令和4年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年12月31日)
四半期純利益	32	6
四半期包括利益	32	6
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	32	6
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 令和5年4月1日 至 令和5年12月31日)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りの仮定について、当第3四半期連結累計期間において、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 令和4年4月1日 至 令和4年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	不動産賃貸事業	不動産管理事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	122	135	257	—	257
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	122	135	257	—	257
セグメント利益 又は損失(△)	△10	54	43	△39	3

(注) 1 「調整額」の区分は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自 令和5年4月1日 至 令和5年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	不動産賃貸事業	不動産管理事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	122	135	258	—	258
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	122	135	258	—	258
セグメント利益 又は損失(△)	△20	62	41	△34	7

(注) 1 「調整額」の区分は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、当社グループは、不動産事業の単一セグメントでありセグメント情報の記載を省略しておりましたが、近年、当社グループにおいて不動産管理事業の重要性が増していることを踏まえ、第1四半期連結会計期間より「不動産賃貸事業」と「不動産管理事業」を報告セグメントとしてセグメント情報を開示することとしました。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第3四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。